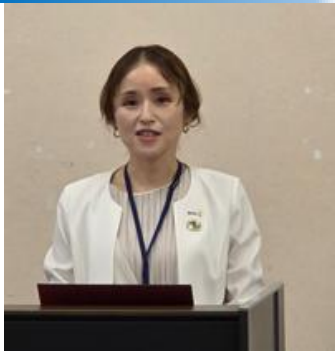


例会プログラム

開会点鐘/ロータリーソング「奉仕の理想」/「四つのテスト」唱和/「ロータリーの目的」朗読/お客様紹介/会長の時間/会員卓話/幹事報告/各委員会報告/出席報告/スマイルボックス報告/閉会点鐘

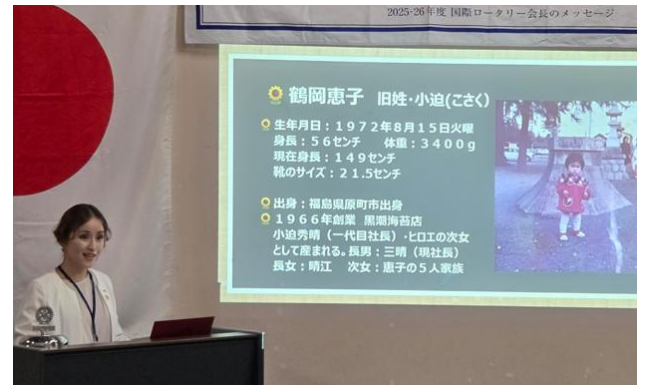
会長の時間



本日は「母の思い出の味」について、お話をさせていただきたいと思います。私にとって母の思い出の味といえば、やっぱり「煮物」です。私にとって母の忙しい中でも、決して手を抜かず、食材の切り方や火の通し方までこだわっている、その姿を見て、私は自然と「丁寧さ」の大切さを学んだのだと思います。「家庭の味」とは単に味付けだけでなく、家族とのやり取りも含まれるのだと学びました。現代は、顆粒出しやパック出しがあり、大変便利になりました。食べ物のごדわりは、人それぞれです。お出しをとる時の、あのふわっと立ち上る香り。実は科学的にも「香りは記憶と直結する」と言われています。だから母の煮物を食べた時の安らぎが、香りとともに心に刻まれているのだと思います。私のお店では煮干しや昆布も扱っています。だからこそ、若い方々へ「丁寧に出しをひく楽しさ」を伝えたいんです。今は簡単出しが主流だけれど、昔ながらの伝統の良さを残していきたい。そして、ロータリーの活動が地域や世代をつなぎ、人々の絆を育むのと同じように、家庭の食卓も また家族や世代をつなぐ大切な場だと感じています。本日は「母の思い出の味」をきっかけに、私なりの食へのこだわり、ロータリーに通じる「人と人をつなぐ大切さ」、そして感謝の思いを語らせていただきました。皆さまもぜひ、ご自分の「心の味」について思い出してみてください。香りや味を通じて蘇る家族の思い出は、何よりの宝物です。

会員卓話：鶴岡恵子会長「自己紹介」

5人家族の次女として生まれ、小学校はフットベースボールチーム、合唱部などクラブ活動に参加、中学時代はバトミントン部で部長を務め、仲間との協力することを学び、高校時代は放送部へ入り、NHKホールで全国大会へ行くなど、楽しい学校生活でした。その後、夢に近づく為に短期大学へ。卒業後は中学からの夢のソニーミュージックソニーミュージックエンタテインメントで働くことが出来ました。とても貴重な経験でした。3年後、親孝行したいと思うきっかけがあり、南相馬に戻りました。36歳の時に脳の手術を経験し、大変つらい経験を乗り越えました。現在は仕事も頑張り、大好きな南相馬ロータリークラブのメンバーとして楽しい日々を過ごしています。まだ頼りない会長かもしれませんが、皆様よろしくお願ひ致します。



2025-26年度 国際ロータリー会長のメッセージ

◎ 鶴岡恵子 旧姓・小迫(こさく)

◎ 生年月日：1972年8月15日 火曜
身長：56センチ 体重：3400g
現在身長：149センチ
靴のサイズ：21.5センチ

◎ 出身：福島県原町市出身
◎ 1966年創業 黒潮海苔店
小迫勇晴(一代目社長)・七口工の次女
として産まれる。長男：三晴(現社長)
長女：晴江 次女：恵子の5人家族

幹事報告

- ・猪苗代湖水草回収の日にちが10/11(土)から10/12(日)へ変更になりました
皆様のご参加、よろしくお願ひ致します。
- ・9/2の資源回収は1,490円でした。ご協力ありがとうございました

ロータリー財団 合計12,000 累計51,000

米山奨学会 合計7,000 累計38,000

スマイルボックス 合計7,000 累計52,000

川崎博祐 鶴岡会長一年間よろしくお願ひします
大谷和年 会長卓話ありがとうございました
鶴岡恵子 まだまだ暑い日が続きますが、頑張ります
岡田義則 会員卓話、会長の黒歴史楽しみです
青木謙二 鶴岡会長の自己紹介楽しかったです
野地庄蔵 今月はうちの年度末です